

新たな観光スポット誕生！ 東海道統一案内看板が石部宿駅に設置されました

まちなみの景観づくりや歴史文化の継承を進めている旧東海道沿いの石部宿駅(石部中央)で3月30日、東海道統一案内看板が設置され、石部まちづくり協議会会長らが参加し、除幕式が行われました。統一看板が設置されたのは同じく景観づくりに取り組む大津市・草津市・甲賀市に次ぐ県内市町で4番目です。田楽茶屋をモチーフにしたこの看板は、成安造形大学の石川准教授がデザインされました。この看板が地域の皆さんの景観への関心を深め、地域や人と人とのつながりを作るきっかけになることを願っています。



おめでとうございます 平松長寿会が「2021年度ニッセイ財団生き生きシニア活動」顕彰を受賞

4月16日、平松長寿会(平松区)が長年にわたる功績により、「2021年度ニッセイ財団生き生きシニア活動」顕彰を受賞されました。

平松長寿会は、湖南市の平松区にある国の天然記念物「平松のウツクシマツ自生地」の保全活動を実施されてこられました。令和3年3月に平松のウツクシマツ自生地周辺に移植したウツクシマツの若木は平松長寿会が中心となって育てていただきました。



長寿寺で火災に備えた放水訓練が行われました

長寿寺は、火災に備えた防火設備として7基の放水銃を新たに設置。4月9日に国宝本堂の周りで同設備による放水訓練が行われました。本堂近くの地下に140トンのお水槽を設置し、そこに貯めた水を使って、毎分3トンの水を放つことができます。住職の藤支さんは「2019年に起きたパリのノートルダム大聖堂の火災を受けてひとごとではないと思いました。文化財を残すため活用したいです」と語られました。

